

Mini GEL PLUS

USER'S MANUAL



1 はじめに

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分にご理解のうえ、安全に正しくご使用ください。本機を安全に正しくご使用いただくには、清掃と保守作業が必要ですが、分解や清掃中の手順を誤ると正常な運転ができなくなることもあります。分解、清掃、殺菌、組み立て等の日常作業にあたっては、作業手順をしっかり理解し、正しく行なってください。

2 仕様

	miniGEL Plus1		miniGEL Plus2	
定格電圧	単相 100V	50/60Hz	単相 100V	50/60Hz
消費電力	250W		550W/600W	
外形寸法	W195×D480×H615(mm)		W395×D480×H615(mm)	
ボウル容量	6L		6L x 2	
質量	25kg		48kg	

仕様および外観の一部を改良のため予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

3 安全上のご注意

- この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、製品を正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつも手元に置いてください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生ずることが想定される内容を、「警告」「注意」の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
	注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	△記号は、「警告、注意を促す」内容のものです。（左図の場合は感電注意）
	⊘記号は、してはいけない「禁止」内容のものです。（左図の場合は分解禁止）
	●記号は、必ず実行していただく「指示」内容のものです。（左図の場合は必ずアース線を接地する）

 警告	
 設置注意	(1)必ず水平で安定した場所に設置し、通電中は移動させない。 転倒や落下、異常動作の原因となります。
 分解禁止	(2)修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理・改造を行わない。 発火、異常動作の原因となります。
 アースを接続する	(3)アースの取り付けは確実に行う。 ・コンセントにアース端子がない場合は、電気店あるいは販売店に相談して取り付けてください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。 ・ガス管、水道管に接続しないでください。

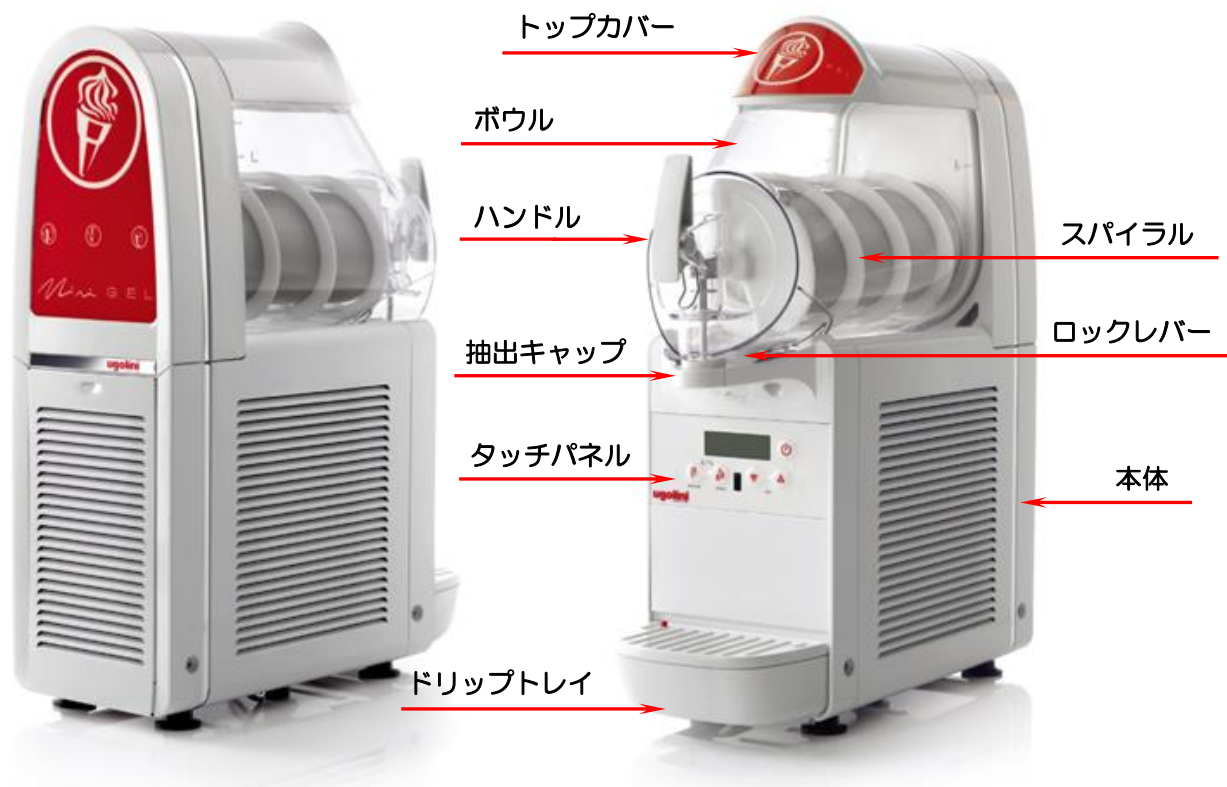
⚠ 警告	
 水かけ 禁止	(4) 所定の場所以外を水につけたり、水をかけたりしない。 ショート・感電の恐れがあります。
 点検 掃除	(5) 差し込みプラグの刃および刃の取り付け面に、ほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元までコンセントに差し込む。 ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
 禁止	(6) 電源コードを傷つけない。 加工したり、引っ張ったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしますと、電源コードが破損し感電や火災の原因になります。 電源コードは、熱源に触れないでください。
 たこ足 配線禁止	(7) 電源は必ずAC100Vで15A以上の専用コンセントから取る。 二股や分岐ソケットからのご使用は異常発熱・火災の原因となります。
 禁止	(8) 差し込みプラグの刃を故意に曲げ、抜けないようにして使用しない。 接触不良により火災の原因になります。
 プラグを 抜く	(9) 異常な臭いや音がしたり、煙が出たり、内部に水や異物が入った場合はすぐに電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜く。 火災や感電の原因となります。
 濡れ手 禁止	(10) 濡れた手で差し込みプラグや電源スイッチなどの電気部品に、触れたり操作したりしない。 感電の原因になります。
 屋外 禁止	(11) 屋外で使用しない。 雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。
 放置 禁止	(12) 廃棄は専門の業者か、公的機関、又はお買い求めの販売店に依頼する。 (有料になる場合もあります)。 放置しますと第三者が製品を改造したり、所定の用途以外の目的で使用したりすると、思わぬ事故の原因になります。
 禁止	(13) 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。 感電・けがをする恐れがあります。

⚠ 注意	
 プラグを 持って 抜く	(1) 差し込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く。 感電やショートして発火の原因になります。
 注意	(2) 製品を落としたり、強い衝撃を加えない。 故障、火災の原因になります。
 注意	(3) 製品の梱包用ポリ袋は、すぐに廃棄する。 窒息事故防止のため、お子様の手の届くところにそのまま放置しないでください。

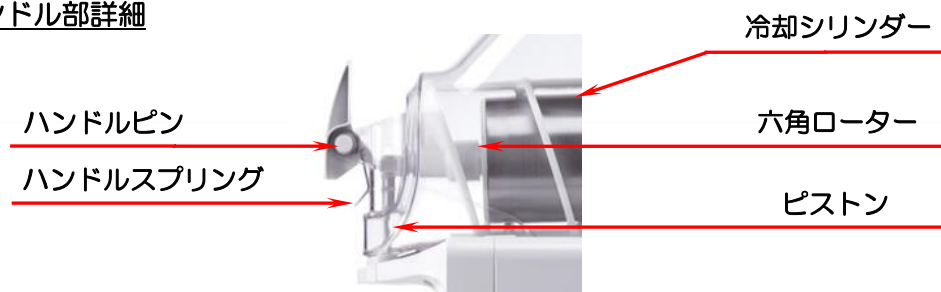
⚠ 注意

 プラグを 抜く	(4) 雷が鳴り始めたらコンセントから差し込みプラグを抜く。 落雷があった場合は、直撃雷、誘導雷などによって、電源線等 を通じての異常電流・異常電圧が侵入し、製品を壊してしま うことがあります。
 使用時 以外	(5) 使用時以外は、スイッチを切り、差し込みプラグをコンセント から抜く。 感電・漏電火災などの原因となります。
 禁止	(6) 電源コードや差し込みプラグがいたんだり、コンセントの差し 込みがゆるいときは、使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。
 禁止	(7) 製品の上に物を置いたり被せたりしない。 故障、転倒の原因になります。
 周囲に すき間	(8) 製品の周囲は、すき間をあける。(15cm以上) 排気の熱がこもって故障の原因となります。
 フィルタ 清掃	(9) フィルタは定期的に清掃する。(1ヶ月に1回程度) 排気の熱がこもって故障の原因となります。
 禁止	(10) 食品以外で使用しない。 故障の原因になります。
 定期 清掃	(11) 本説明書に記載されたお手入れを確実に 行う。 お手入れせずに使用を続けると、故障や異臭の原因となります。 (12) ドリップトレイの水分や食品は、こまめに捨てる。 ドリップトレイに水分などが溜まると、あふれたり、 異臭の原因となります。

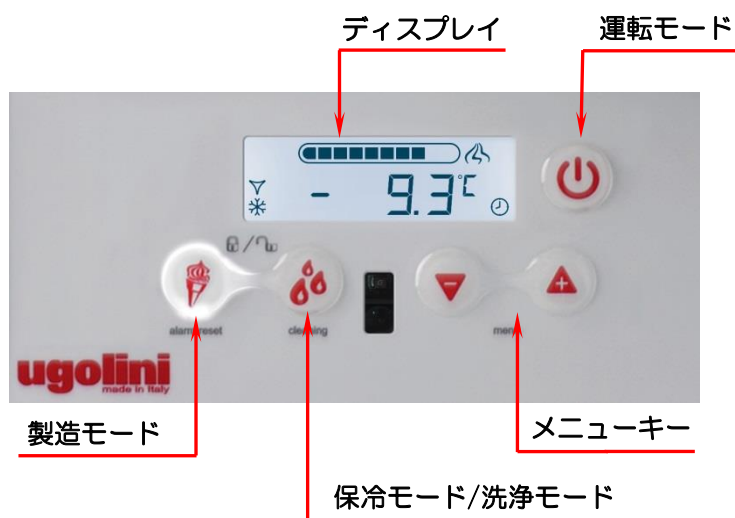
4 各部の名称



●4.1 ハンドル部詳細



●4.2 タッチパネル名称



※詳しくは『6.1 操作パネルについて』をご参照下さい。

●4.3 主電源スイッチ



※主電源スイッチは本体
左下底部分にあります。

5 設置

- (1) 梱包箱から製品を取り出し、取扱説明書、付属品をご確認ください。同時に輸送中に破損がなかったかどうか確認してください。破損が確認された場合は、ただちに運送会社に報告してください。梱包材は長期使用されない際の保管や、修理を依頼される際に使用できるよう、保管しておいてください。



持ち運ぶときや持ち上げるときは、決してボウルや冷却シリンダー部を持たないでください。
破損や落下などの原因となります。

- (2) 本機を、水平で安定した十分な強度の作業台に置きます。持ち運びの際は、手順(1)の重要事項に従ってください。
- (3) 冷却空気の流れを妨げないように、本機の周囲に少なくとも 15 cm のすき間を確保して設置します。
外部から熱の影響を受けないために、直射日光を受ける所やガスコンロ等の熱源の近くには設置しないでください。
- (4) 機器が安定しているかどうかを確認し、必要に応じて脚の高さを調整します。
- (5) 本機をコンセントに接続する前に、コンセントの電圧が AC100V かどうか確認してください。延長ケーブルは使用しないでください。また、今後のメンテナンスのためにコンセントに手が届きやすい位置に機器を設置してください。
- (6) 感電防止のため必ずアースを正しく接続してください。

●コンセント部が 3P タイプの場合

差し込みプラグを根元までしっかり差し込んでください。アースも同時に接続されます。

●コンセント部にアース端子がある場合

付属の変換プラグのアース線(緑線)を確実にコンセント部のアース端子に取り付け、
差し込みプラグを変換プラグに根元まで差し込んでください。

●コンセント部にアース端子がない場合

D 種(第3種)接地工事が必要ですので販売店にご相談ください。

(接地工事は電気工事士の資格が必要です。)

次のような場所にはアース線を取り付けしないでください。(法令等で禁止されています。)

◇ガス管 ◇電話線や避雷針 ◇水道管

- (7) 使用前に必ず『6.3 お手入れ』に記載された手順に従って、分解、洗浄、殺菌を行ってください。
本機は出荷前に洗浄や殺菌を行っていません。

6 操作手順

- (1) 『6.3 お手入れ』に記載された手順に従って、機器の洗浄と殺菌を行います。
- (2) ボウルに製品の原料を入れます。このとき、製造中に体積が増えること(オーバーラン)を考慮して分量を調節します。最大容量まで原料を入れないでください。フロースンの場合は 10% 程度(仕込最大 5 リットル) ソフトクリームの場合は 30% 程度(仕込最大 4 リットル) の体積増加を考慮してください。
- (3) フロースン専用の液状または粉状原料ミックスを使用する場合は、メーカーの説明書をよくお読みください。
- (4) レモン果汁、オレンジ果汁、コーヒーなどの天然材料を使用してフロースンを製造する場合は、製品 1 リットルあたり 150~200 グラムの砂糖を溶かし入れてください。(Brix 値 11~12 度以上)



本体ボウルに入れる原料の Brix 値(ショ糖含有率)は 11~12 度以上とします。
加糖していない材料や水だけを入れて運転することは絶対におやめください。
冷却シリンダーに凍りつき、故障に繋がる恐れがあります。

- (5) 操作パネルを使用してください(『6.1 操作パネルについて』参照)。



トップカバーを取り付けないと、スパイラル、冷却機能のいずれも作動せず、ディスプレイに「COU」というメッセージが表示されます。

- (6) 製造の途中で運転を停止させないでください。抽出準備が完了すると冷却システムが自動で停止し、設定された固さを保ちます。製造モード中はスパイラルは動作を続けます。

6.1 操作パネルについて

本機は、主電源スイッチ、キーパッド、ディスプレイを備えています。キーパッドを使用して機器の運転モードを選択できます。

●主電源スイッチ

主電源スイッチは本機の左下にあります。機能は次のとおりです。

0 位置： 本機は停止します。

1 位置： 本機は操作可能になりますが、待機モードです。ランプ B だけが点灯します。

●操作キーパッド

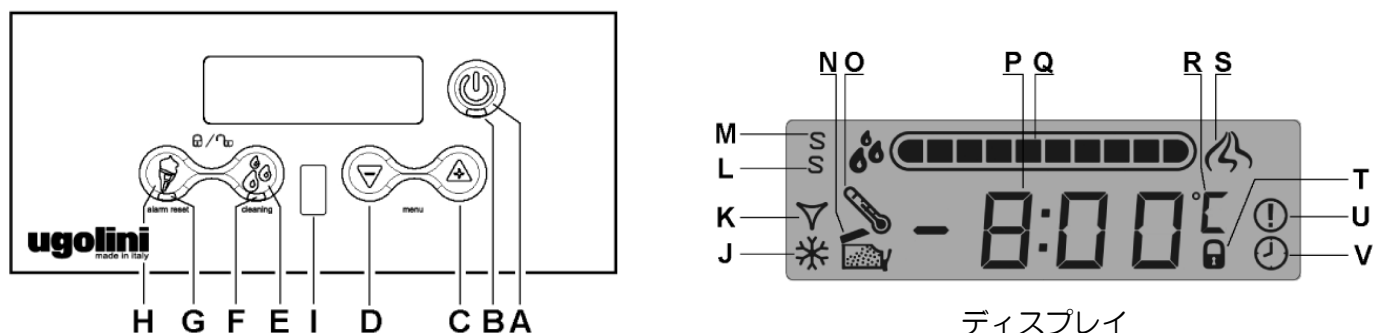


図1 操作キーパッド

キーA：2秒間押し続けると、待機モードから運転モード、またはその逆に切り替わります。

運転モードでは、スパイラルが回転し、冷却システムもオンになります。

LED B：ランプ B は主電源を入れたら点灯します。

キーC：製造モードのときに押すと、製品の固さが上がります。

キーD：製造モードのときに押すと、製品の固さが下がります。

キーE：保冷モードになります。保冷モードに切り替わると、ランプ F が点灯／点滅します。

キーH：製造モードになります。製造モードに切り替わると、ランプ G が点灯／点滅します。

センサーI：カップ検知センサー。カップ等が抽出口の下に置かれたことが検知されると、スパイラルの運転速度が上がり、製品をスムーズに抽出できます。

下記のマークがディスプレイに表示されます。

※ J：このマークが点灯しているときは、コンプレッサーが作動しています。

▽ K：このマークが点灯しているときは、冷却電磁弁が開いています。

s L：このマークとマーク M が同時に点灯している場合、本機はスーパーサービスモードで運転中です。

s M：このマークが点灯している場合、本機はサービスモードで運転中です。

☒ N：このマークが点灯し、ディスプレイに「COU」と表示されているときは、カバーが取り外されていることを示し、本機の運転はできません。

🌡 O：このマークが点灯しているときは、運転中に温度アラームが作動したことを示します。

P：製品温度

Q：固さ設定表示

R：温度の表示単位（℃）

☒ S：このマークが点灯しているときは、抽出口の下に置かれたカップまたはコーンが検知されています。

🔒 T：このマークが点灯しているときは、キーボードがロックされています。

⚠ U：このマークが点灯しているときは、アラームが作動中です。

🕒 V：このマークが点灯しているときは、タイマーがセットされています。

●機器を起動するには

主電源スイッチを1の位置にセットしてください。ランプ B が赤色に点灯します。

キーA を機器が起動するまで押し続けてください。

●運転モードの切り替え

キーE または キーH を押して、任意の運転モードを選択してください。miniGEL Plus2 の場合、現在の運転モードのキー（E または H）を押すと、該当するボウルのスパイラルおよび冷却運転を止めることができます。もう一度そのキー（E または H）を押すと、運転を再開します。

キーE： 保冷モード 液状の製品を保存に適した温度に保ちます。夜間に品質を保ちたいときや消費電力を節約したいときに便利です。

キーH： 製造モード ボウルに入れる原料に応じてソフトクリームまたはフロズンを製造します。

●その他の機能

○固さ調整

製造モードで運転中にキーC または キーD を押すと、製品の固さ（やわらかい 1～10 かたい）を調整できます。固さの設定は、レベル 1～5 では 0.5 刻み、レベル 5～10 では 1 刻みで調節できます。出荷時は 8 に設定されており、ソフトクリームの製造に適した固さになっています。

製品の種類に適した値の目安は、それぞれ次のとおりです。

- ・フロズン : 1～3
- ・シャーベット : 2～4
- ・ソフトクリーム : 6～10

○洗浄モード

機器が保冷モードに設定されているときに、キーE を 3 秒間押し続けると洗浄モードが起動します。洗浄モードに切り替わると、ディスプレイの表示は「---」になります。

いずれかのキーを押すと、洗浄モードから保冷モードに戻ります。

洗浄モード： スパイラルが高速で回転し、冷却システムがオフになります。機器の洗浄中や殺菌中に消毒液が冷却されるのを防止します。

○温度アラーム

通常、ディスプレイの温度表示は点灯したままです。ディスプレイにマーク O が点灯した場合は、製品温度が保冷温度の上限を超えてから所定の時間が経過したことを示します。その場合は、製品が変質していないかどうか検査する必要があります。

アラームをリセットしてディスプレイを通常表示に戻すには、キーH を 3 秒間押し続けてください。



重要

出荷時は製品保冷温度が 4℃に設定されています。

○抽出可能のタイミング

製品の製造中はランプ G が点滅しています。製品が抽出可能になると、ランプ G が点灯に変わります。

○キーロック

キーパッドをロックして、いたずら操作を防止することができます。ロックするには、キーE とキーH を同時に 3 秒間押し続けてください。ロックされるとディスプレイにマーク T とともに「BLOC」と表示され、すべての操作ができなくなります。

ロックを解除するには、再びキーE とキーH を同時に 3 秒間押し続けてください。ロックが解除されると、ディスプレイのマーク T が消灯します。

○固さの過剰上昇防止

製品の固さが過度に上昇すると、機器の故障を防ぐため、冷却システムとスパイラルが 3 分間停止し、ディスプレイに「---」と表示されます。3 分経過するとスパイラルと冷却システムの運転が再開し、固さの設定がそれまでより 1 段階下がります。

アラームメッセージをリセットしてディスプレイを通常表示に戻すには、キーH を 3 秒間押し続けてください。

○デフロストタイマー

本機はデフロストタイマーを内蔵しており、製造モードから保冷モード、またはその逆へ運転モードが自動的に切り替わります。デフロスト運転中はアイスクリームまたはフローズンが保冷温度に保たれ、デフロストが完了すると、製品の固さは準備モードで設定された値へ自動的に調整されます。

①サービスモードの設定

デフロストタイマーをセットするには、本機をサービスモードで起動する必要があります。サービスモードで起動するには、キーA を押しながら主電源スイッチを1の位置にします。サービスモードに切り替わると、ディスプレイにマークMが表示されます。以下の現在時刻とデフロスト時間の設定、およびデフロストタイマーのオン/オフの切り替えは、待機モードに設定されているときのみ可能です。現在時刻、デフロスト時間、およびタイマーのオン/オフに関する設定内容はすべて保存され、本機の電源をいったんオフにしてから、通常の運転モードで再度オンにした場合でも有効です。

②現在時刻の時間設定

最初に、現在時刻をセットします。キーC および D を同時に押すと、時、分、表示形式（12/24 時間）の設定を促されます。キーC および D で表示値を上下させ、キーA で決定します。

③デフロスト時間の設定

現在時刻を設定したら、デフロスト時間を希望する値に設定できます。キーH および E を同時に押すとディスプレイに「00:00」と表示され、その時点での運転モードがマークFまたはGで表示されます。キーE および H で運転モードを変更でき、キーC および D を押すと時刻を15分刻みで調整できます。キーA で決定すると現在時刻に表示が戻ります。このようにして、本機の運転モードを24時間先まで設定可能です。

④デフロストタイマーのオン/オフ

デフロストタイマーは、サービスモード中にキーH を長押しすることでオン/オフできます。ディスプレイにマークVが表示されているときは、デフロストタイマーがオンにセットされています。タイマーがオンの状態で本機を起動させた場合、設定された時刻になると運転モードが自動的に切り替わるため、手動ではモードを選択できません。設定が完了したら、キーA を長押ししてサービスモードを終了します。

6.2 操作に役立つヒント

- 製品の冷却にかかる時間は、周囲温度、製品の初期温度、ショ糖含有量（Brix 値）、脂肪分、固さ調整など、さまざまな要因によって異なります。
- 予め冷やしておいた原料を注ぎ足しながら運転すると、製造効率が上がります。
- 継ぎ足しによる製造効率を上げるには、製品の液位が冷却シリンダーの半分程度まで下がったタイミングで原液を注ぎ足してください。
- 製品を適切に保存するには、本機を保冷モードに切り替え、夜間も稼働させておく必要があります。
- 保冷モードで夜間運転を行うことで、ボウル外側への氷の付着（大気中の水分の凝結による）を防ぐこともできます。
- 製品がボウルに入っているときは、決して本機の電源を切らないでください。冷却が止まると製品が劣化する恐れがあります。また、攪拌を止めると製品が固まり、氷の塊ができる可能性があります。そのまま（氷の溶解を待たずに）スパイラルを再始動すると、本機が破損する恐れがあります。
- この種の機器では放熱が必要ですが、放熱量が極端に多いと感じられる場合は、本機の近く、特に側面パネル付近に熱源がないことを確認してください。また、設置場所が壁や箱などに近すぎるために空気の流れが妨げられていないのかも確認してください。本機の周囲には少なくとも15 cmのすき間を確保してください。最後に、後部パネル下部にあるコンデンサフィルターが汚れていないことを確認してください。



注意

機器の保守点検は、安全／衛生上の知識をお持ちで実際に機器を扱った経験のある方のみが行ってください。

6.3 お手入れ

- 製品の味を最高の状態に保ち、運転効率を最大限に高めるには、お手入れと洗浄が不可欠です。以下に一般的な手順を記載しますが、実際は衛生基準によって異なります。
- 洗浄にあたっては、分解前にボウル内の製品を取り出して空にする必要があります。洗浄は下記の手順で行ってください。

- (1)キーパッドを使用して、洗浄モードを選択します。
- (2)必要な場合は、製品が溶けて液状になるまで待ちます。
- (3)各抽出口の下に容器を置き、ボウルを空にします。
- (4)ボウルを水で満たし、洗浄モードで本機を2～3分間運転します。終わったらボウルを空にします。
- (5)キーAを長押しして、本機のスイッチを切ります。
- (6)主電源スイッチを0(OFF)の位置にします。

6.3.1 分解



注意

構成部品を分解するときは、必ず機器の電源プラグを抜いてください。

- (1)ボウルのトップカバーを取り外すには、上部ボタンを押し、トップカバーをボウル前方にスライドさせます。(図2参照)

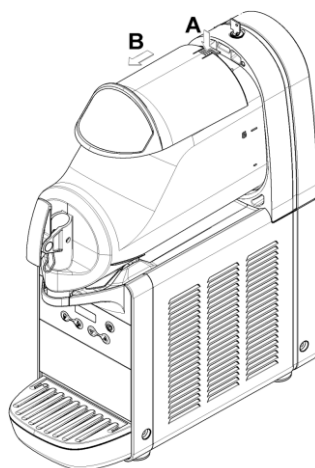


図2

- (2)ロックレバーを上方に押して(図3参照)、ボウルを取り外します。(図4参照)

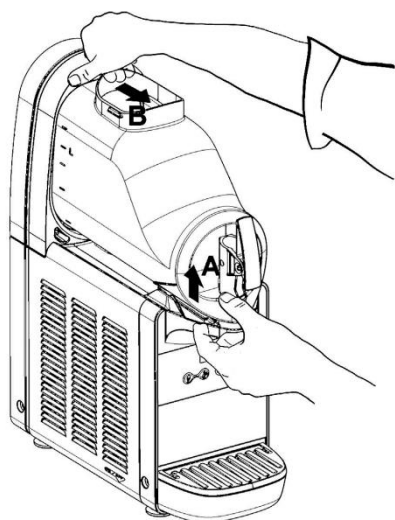


図3

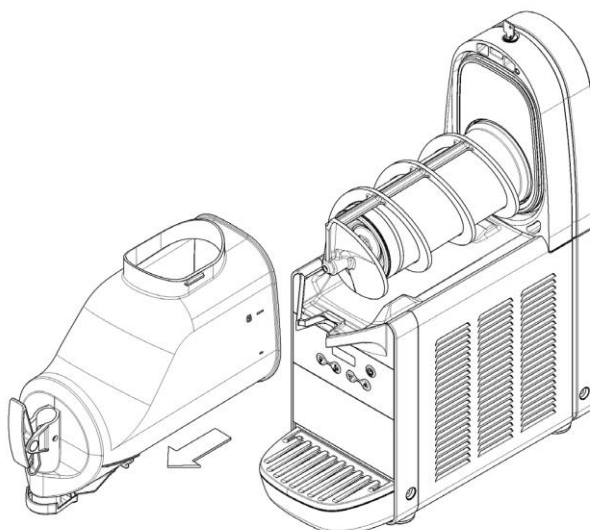


図4

(3)スパイラルを、冷却シリンダーから抜き取るようにして取り外します。(A)
次に、六角ローターを取り外します。(B) (図 5 参照)

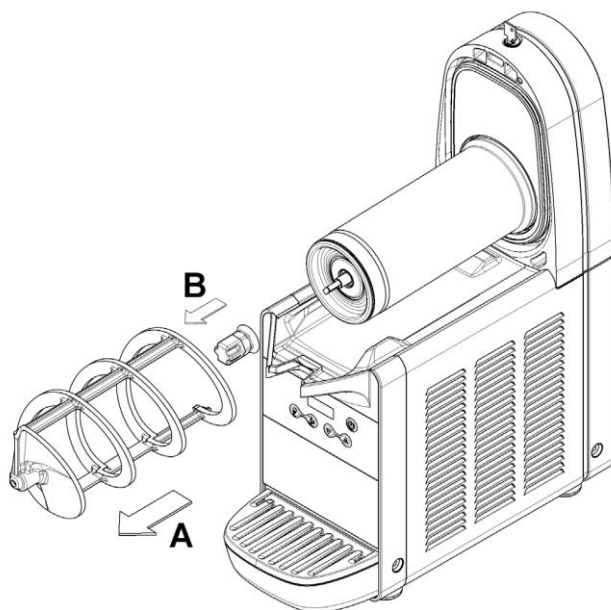


図 5

(4)本体からガスケットを取り外します。(図 6 参照)

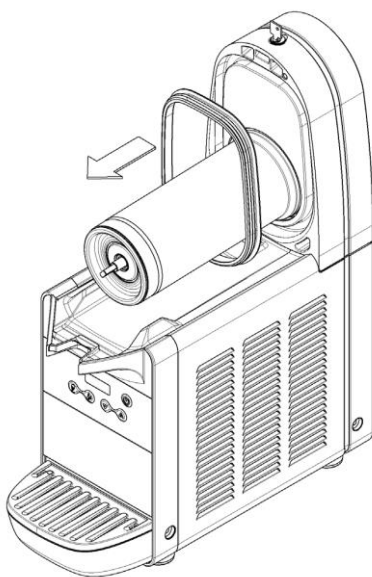


図 6

(5)ドリップトレイを取り外し、溜った物を排出して空にします。

(6)ハンドルピンを横方向に抜き(A)、ピストンをハンドルごと上方向に抜き取ります。(B) (図 7 参照)

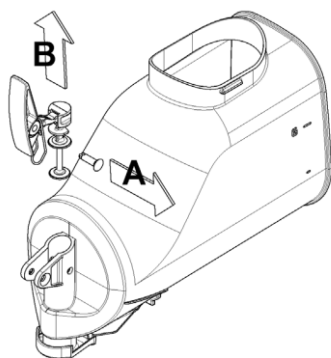


図 7

(7)抽出キャップをボウルから取り外します。(図 8 参照)

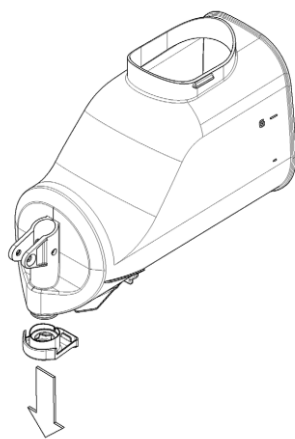


図 8

6.3.2 お手入れ



注意

お手入れを始める前に、必ず機器の電源プラグを抜くか外部ブレーカースイッチをオフにしてください。

(1)シンクなどに湯(45~60℃)を約 4 リットル張り、中性洗剤を洗剤メーカー推奨の濃度に溶かします。洗浄溶液の濃度が高すぎると、洗浄する部品を傷める恐れがあります。また、濃度が低すぎると、十分に洗浄できません。研磨剤入り洗剤は使用しないでください。



重要

破損を防ぐため、プラスチック部品に適した洗剤のみを使用してください。

ボウルおよび部品は食器洗浄機で洗浄しないでください。

(2)柔らかなブラシを使用し、食材と接するすべての部品を洗剤溶液で十分に洗います。

(3)柔らかなブラシを使用して、冷却シリンダーを洗浄します。

(4)水道水ですべての部品をすすぎます。



注意

洗浄中は、電気部品の周囲で大量の水を使用しないでください。感電または機器の破損につながる恐れがあります。

6.3.3 殺菌



殺菌は、必ずご使用前に行ってください。殺菌後、機器を長時間放置しないでください。

- (1)以下の操作を始める前に、抗菌せっけんで手を洗ってください。
- (2)シンクなどに約 8 リットルの湯（45～60℃）を張り、塩素系消毒剤（漂白剤）を薬剤メーカーの指示に従って加え、消毒液を作ります。薬剤メーカーの指示がない場合は、塩素濃度が 100ppm になるように調整してください。
- (3)すべての部品を、薬剤メーカーが指定した時間、消毒液に浸して殺菌します。
- (4)殺菌済みの部品を、清潔な場所で自然乾燥させます。
- (5)機器外面の水気を拭き取ります。このとき、硬い布は使用しないでください。

6.3.4 組み立て

- (1)ドリフトトレイを元の場所に取り付けます。
- (2)ピストン、六角ローター、スパイラルの図 9 に示した各部にグリースを薄く塗ります。機器に付属のグリースまたは食品専用のグリースを使用してください。

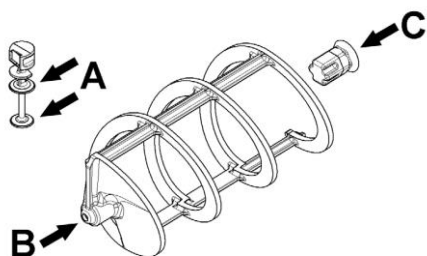


図 9

- (3)図 8 と逆の手順で、抽出部をボウルに取り付けます。
- (4)ボウルのガスケットを取り付けます。

注意： 径が大きい方の縁を後壁に沿わせる形で取り付けてください。（図 10 参照）

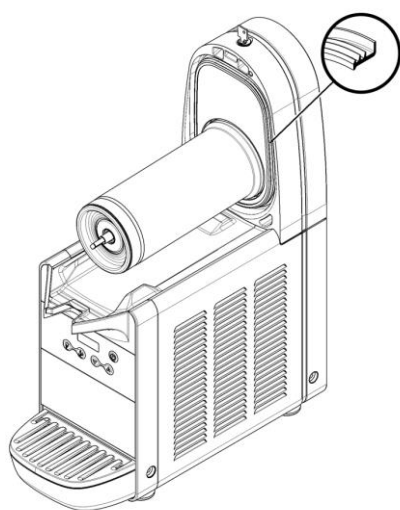


図 10

(5)六角ローター、続いてスパイラルを取り付けます。(図 11 参照)

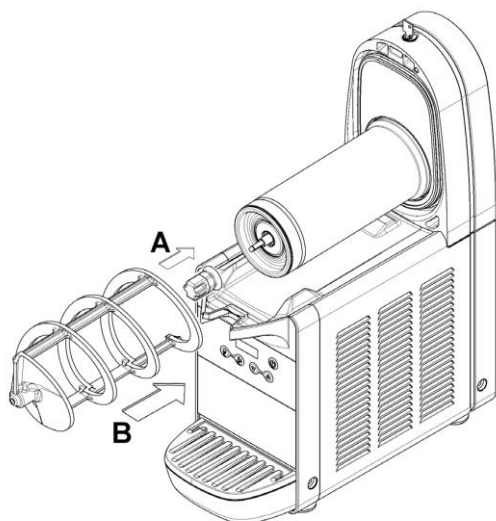


図 11

(6)ボウルを後方の壁に押し付けるようにして取り付けます。このとき、ボウルが確実にガスケットに密着していることを確認してください。ロックレバーが下がり、ドリフトレイの上部で止まります。(図 12 参照)

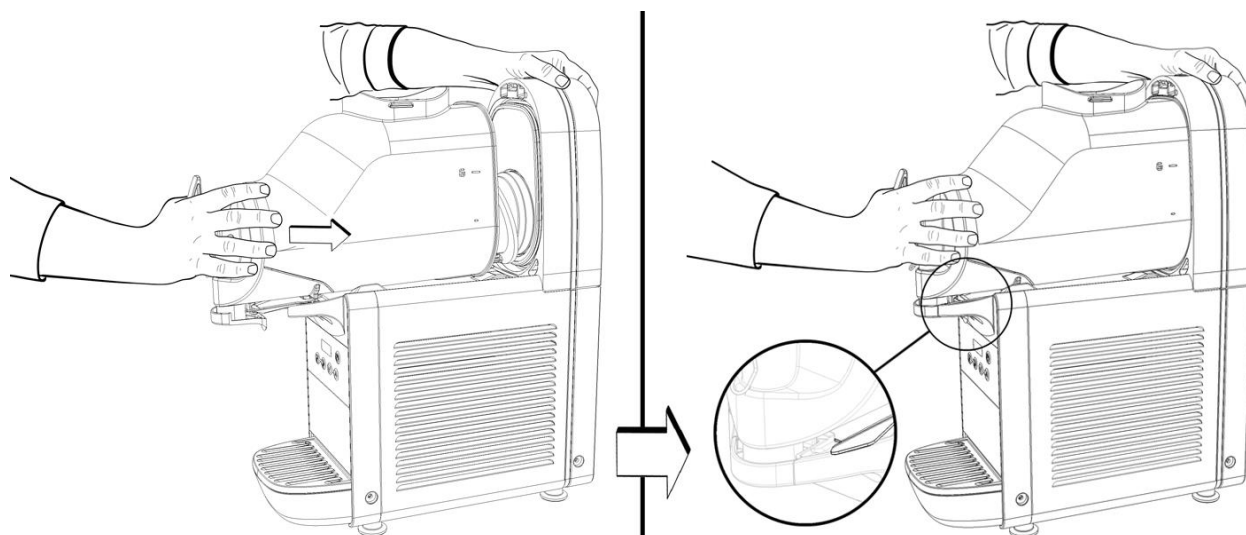


図 12

(7)ボウルに冷水を注ぎ、底部に残った消毒液を完全に洗い流します。使い捨てのペーパータオルでボウル内部の水気を拭き取ります。

6.4 現場殺菌

運転を再開する前に、機器を組み立てた状態で再度殺菌を行うことがあります。これは消毒に万全を期すため、必要に応じ、前項で述べた分解殺菌と併せて実施するものです。分解殺菌に代わるものではありませんのでご注意ください。

- (1)注ぎやすい容器に湯（45～60℃）を張り、塩素系消毒剤（漂白剤）を薬剤メーカーの指示に従って加え、消毒液を作ります。薬剤メーカーの指示がない場合は、塩素濃度が 100ppm になるように調整してください。
- (2)消毒液をボウルに注ぎ入れます。
- (3)柔らかなブラシを使用して、ボウルの水位より上の部分とトップカバーの裏側に消毒液を塗りつけます。
- (4)トップカバーを取り付けて本機を洗浄モードで稼働し、約 2 分間溶液を攪拌します。終わったら、抽出口から溶液を排出させ、ボウルを空にします。
- (5)水道水を注ぎ、ボウル底部に残った消毒液を完全に洗い流します。それ以上すすぎ洗いはしないでください。

7 日常的なお手入れ

- (1)毎日のお手入れ： 機器を点検し、ガスケットから製品が漏れていないかどうか確認してください。漏れを発見した場合、まずは各構成部品が正しく取り付けられているかどうか、次に、ガスケットの注油が足りているかどうか、最後にガスケットに摩耗や破損がないかどうかを確認します。
いずれかに該当する場合は、メーカー純正のサービスパーツに取り換えてください。



注意

お手入れを始める前に必ず、機器の電源プラグを抜いてください。

- (2)毎月のお手入れ： 六角ローターのガスケットが摩耗していないかどうか確認してください。摩耗している場合は、六角ローターごと、メーカー純正のサービスパーツに取り換えてください。（図 13 参照）

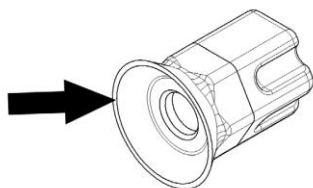


図 13

- (3)毎月のお手入れ： 機器背面にあるコンデンサーフィルターのほこりを取り除いてください。（図 14 参照）

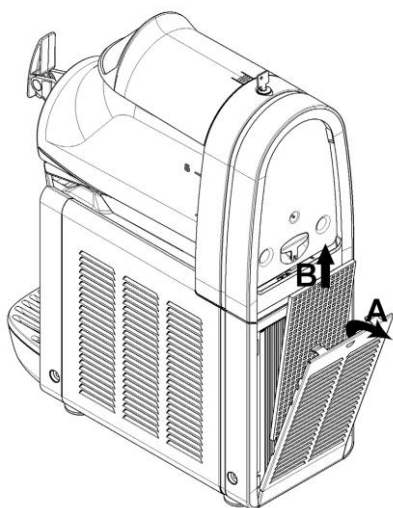


図 14



注意

コンデンサーのフィンが鋭いので注意してください。

- (4) 万一、異音がする場合は、冷却システムのプラグを抜き、保守点検担当者にご連絡ください。
- (5) 万一、機器が停止した場合は、不意に再始動するおそれがあるため、いったんプラグを抜いてください。
- (6) 保守点検担当者による作業が終わったら、ねじやカバーなど、すべてを点検前の状態に戻すようにしてください。

8 保証とサービス

主電源スイッチを入れても「ランプが点灯しない」「時間がたっても冷えない」「おかしい音がする」「おかしい臭いがする」などの異常があった場合は、差込みプラグを抜いて、お買い求めの販売店、最寄の取扱店またはタイジ㈱にアフターサービスをお申し付けください。

- この製品には保証書が付いています。無償保証期間はご購入日から1年間です。保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
 - この製品の補修用性能部品の保有期間は生産打ち切り後5年間です。
- (注) 補修用性能部品とはその機能を維持するために必要な部品です。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社及び当社関係会社(以下「当社」)は、お客様よりお知らせ頂いたお客様の氏名・住所などの個人情報(以下「個人情報」)を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認、新製品開発などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を適正な管理と利用、保護いたします。
3. お客様からのご本人の個人情報に関する問い合わせ、変更、削除については、ご相談いただきました窓口までご連絡いただければ、合理的な範囲内で速やかに対応いたします。

保証書

保証期間中、本保証書に記載された保証規定により無償修理いたします。

保証規定

1. 上記保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理させていただきます。
2. 保証期間内でも次のような場合は有償修理になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 故障の原因が本製品以外の他の機器による場合。
 - 天災地変による故障及び損傷。
 - 消耗部品扱いの部品の修理・交換。
 - 本保証書の提示がない場合。
 - 本保証書にご購入年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合。
3. ご転居やご贈答等でお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、発売元または販売元へご相談ください。
4. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
5. 本保証書は日本国内でのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または販売元へお問い合わせください。

機種名 : miniGELPlus		製造番号	
ご購入年月日		年	月 日
保 証 期 間		ご購入日より1年間	
お客様	お名前 様		
	ご住所 電話番号 ()		
販売店	住所・店名		
	電話番号 ()		

■弊社へ直接ご連絡の際は下記へ

タイジ株式会社

東日本営業所

西日本営業所

川崎市川崎区大川町 8-2

大阪市東淀川区下新庄 5-26-21

〒210-0858

〒533-0021

TEL. 044-329-5880

TEL. 06-6990-6853

ウェブからのお問い合わせ <http://www.taiji.co.jp/support/>